

2018 (平成30) 年度をふり返る



第241号



5月 北海道教区仏教壮年研修大会



6月 仏婦・寺婦合同研修会



7月 平成30年7月豪雨(広島)



9月 平成30年北海道胆振東部地震



10月 公聴会

発行所
札幌市中央区北3条西19丁目
(郵便番号 060-0003)
北海道教区教務所
電話 011-611-9623
編集 北海道教区教務所
発行人 中尾了信



11月 ブロック別僧侶研修会



12月 若婦人・若寺婦研修会



3月 実践運動教区委員会全体会

6月20日(木)
『門徒総代会全道大会』
 会場：本願寺札幌別院 講師：天岸浄圓師
 前門様ご臨席
 5月31日締め切り

「平成30年北海道胆振東部地震義援金」

ご芳名 (敬称略・順不同 12月1日～3月31日)

10月5日よりお願いいたしました、「平成30年北海道胆振東部地震義援金」につきまして、多くのご協力をいただいておりますこと御礼申しあげ、ご報告いたします。

引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。

2018年10月5日～
2019年3月31日
延べ数 373個人・団体
金額 24,134,690円

大分教区宇佐組妙満寺
長野教区川中島組浄楽寺
東京教区東組長安寺仏教婦人会
兵庫教区神戸東組善立寺
四州教区徳島北組明泉寺
北海道教区北見東組光輪寺
北海道教区札幌組大心寺
野々口和仁
福岡教区鞍手組照安寺門信徒会
和歌山教区和歌山北組
福岡教区上下組万徳寺
長崎教区平戸組圓成寺蓮の花の会
北海道教区北見西組西光寺
長野教区合同実践運動研修会参加者
東京教区麻布組善福寺
岐阜教区華陽組善徳寺
竹内澄子
函館組仏教婦人会連盟
鹿児島別院本名出張所
本願寺仙台別院
福岡教区鞍手組

北海道教区札幌組敬念寺仏教婦人会
北海道教区北見東組本覚寺
鹿児島別院荒田出張所
佐賀教区神埼組
東京教区三浦組長徳寺門信徒一同
佐賀教区佐賀組願正寺仏教婦人会
滋賀教区蒲生下組災害支援バザー
兵庫教区神戸西組
北海道教区函館組乗蓮寺
佐賀教区佐賀組願正寺
佐賀教区佐賀組願正寺参拝者
山陰教区仁摩組大雄寺
兵庫教区網干組善徳寺
大阪教区東住吉組
福岡教区宗像組浄徳寺チャリティーバザーH30
新潟教区元上組託念寺
北海道教区上川南組玄生寺
山口教区仏教婦人会連盟
東海教区員弁組寺院女性連盟
山口教区岩国組光福寺秋季彼岸会

長野教区川越組真宝寺
北海道教区北見東組報恩寺
山口教区周南組仏教婦人会
富山教区黒西組善巧寺佛教婦人会
東京教区世田谷組常栄寺門信徒会
福岡教区早良組真教寺募金箱
高岡教区教務所
滋賀教区野洲組延命寺
鹿児島別院東俣出張所
鹿児島教区出水組祐信寺
東京教区芝組等覚寺
北海道教区空知南組廣大寺
宮崎教区善長寺仏教婦人会
西村亥子代
山口教区厚狭西組願生寺
岐阜教区岐厚組真念寺
大分教区東国東組光蓮寺
北海道教区札幌組光明寺
大分教区宇佐組圓正寺
北海道教区根室組教雲寺
義援金箱(常任委員会・組長会)
北海道教区胆振組本教寺
北海道教区札幌組浄圓寺
北海道教区上川北組
上川南組総合研修参加者一同
福井教区大野組
長野教区川越組極楽寺
北海道教区留萌組信楽寺
鹿児島教区北隅組光明寺
北海道教区函館組正覚寺
北海道教区上川南組光照寺
和歌山教区御坊組安養寺

鹿児島教区南薩組顯證寺
北海道教区後志組真龍寺
福岡教区鞍手組寺族女子部
大矢野町仏教連合会
本願寺函館別院
本願寺函館別院職員一同
熊本教区託麻組良覚寺
札幌組寺族婦人会連盟
長崎教区諫早組明德寺
大分教区教務所
北海道教区日高組崇徳寺門信徒一同
第30回温泉説法の集いおひねり
岐阜教区仏教婦人会
北海道教区空知南組西法寺
札幌別院義援金箱
函館組宣法寺門信徒一同
長崎教区諫早組安勝寺門信徒会
国府教区仏教婦人会連盟
西川和映
富山教区教務所
兵庫教区神戸湊組
札幌組真願寺門信徒一同
札幌別院厚生会
東北教区岩手組正光寺仏教婦人会
福岡教区柳川組
大分教区湯布院組西蓮寺
教区門信徒教化部主催研修会参加者
佐賀教区川副組西肥仏教婦人会
根室組西光寺ひかり仏教婦人会
北海道教区教務所職員共済会
北見東組秀岳寺門信徒一同
(株)プラニ



たすけあい運動募金
 仏教婦人会総連盟
 北海道教区後志組東林寺
 和歌山教区仏教婦人会連盟
 北海道教区北見東組
 熊本教区寺族婦人会連盟
 山陰教区鳥取伯耆組
 北海道教区仏青連盟
 上川南組仏教婦人会連絡協議会
 山口教区須佐組西秀寺
 北海道教区北見東組真宗寺仏教婦人会
 岐阜教区西濃北組
 山陰教区鳥取因幡組
 福岡教区怡土組若婦人部
 福岡教区仏教婦人会連盟
 長野教区仏教婦人会連盟
 全国坊守・寺族女性連絡会
 東北響流会
 和歌山教区海草組寺族女性会
 北海道教区函館組
 福岡教区那珂組門信徒の集い
 札幌別院義援金箱

組名	金額
札幌組	1,500,000円
空知南組	900,000円
空知北組	200,000円
胆振組	17,500,000円
日高組	800,000円
死亡門徒見舞金(3名)	150,000円
合計	21,050,000円

先般、災害対策委員会にて、2月末日までの義援金より被災寺院報告がありました組への分配を決定し送金いたしました。

3月以降の義援金につきましても、北海道教区地方災害対策会計にて適切に管理し、2019年度へ繰り越し、引き続き被災寺院報告がありました組へ分配いたします。

「平成30年 北海道胆振東部地震」 義援金送付先

1. 受付口座番号

郵便振替 02790-6-103182

口座名称 北海道教区教務所

※通信欄に必ず「平成30年北海道胆振東部地震義援金」とご記入ください。

2. 受付期間

2018(平成30)年10月5日(金)から2019年12月31日まで

3. 備考

- ・お預かりしました義援金の配分については、後日「北海道教区災害対策委員会」にて決定の上、被災寺院へお渡しし教区時報等で報告をいたします。
- ・必ず寄付者のお名前をお書き下さい。
- ・青色の振込用紙(手数料をご負担下さい)にてお振り込み下さい。

『平成30年
北海道胆振東部地震』
より私たちが学ぶこと』
開催報告

去る、3月14日(木) 教化センター札幌別院にて、教区実践運動委員会(永江雅邦部長)による『平成30年北海道胆振東部地震』より私たちが学ぶこと』をテーマとした研修会を行い、45名の参加がありました。

「門信徒教化部」が企画した意図としては、同じ宗派の寺院がどのような被災状況にあり、その震災をどのような縁の繋がりのなかで寺院を活性化させたのか。また、今後起こり得る震災に対し、寺院、門信徒が一体となつて聴講することが今後に役立つのではないかとの思いのなかで開催しました。

全体で三部構成となっており、第一部では「震災というご縁」と題して舛田那由他住職より震災当時の状況とその後の活動について。第二部では「空知南組アラート委員会の組織と活動」として、空知南組副組長の西川公平住職より組として動くための「リスク・マネジメント」について。第三部では「寺院災害保険」プラ二代表の西山まり子さんより、実際の保険料支払い事例を紹介しながら説明をいただきました。全て参考になるお話であり、各組でお招きし研鑽戴きたいと思う研修会でした。

【第一部】

舛田住職はご自身の状況として、隣組寺院の報恩講出勤で不在であったが、家族に被害がなかったこと。数年前に耐震工事を施行済であった、本堂やお墓について写真とともにご説明いただいた。「断水や停電が続く中、組内や近隣組の方、青年僧侶協議会など多くの方々物が物資や発電機を持ってきてくれた。

多くの物資が集まったので、寺院を開放し充電や物資を分けるなどする中で、「恐かった」と互いに語り合っていた。語り合う中で、またご自身の娘さんが一人でトイレに行けなくなるなど子どもへの異変などが多く見られ、近所のお医者さんの紹介の元、メンタルケアの学びを行った。」

「災害時にいつもと違う自分になるのは普通のことです」子どもによく見られる反応
・災害ごっこをして遊ぶ
・一人でトイレに行けなくなる
・おねしょが多くなる
・現実ではないことを言い出す 等
こうした症状はASD(急性ストレス反応)といい、誰にでも起こる反応です。子どもには特に「共感し、自身をつけてあげる」ことが回復につながります。
(メンタルケアまとめ一部抜粋)

余震時に「逃げよう」と言ったが、他の家族は身体が動かかなかったという。なぜかわからなかった。「自分は当時お寺にいなかったではないか」と言われた。地震は一瞬であるが、大人も身体に残っている。「何も出来なかつた私」がいた。物資提供など「色々な仕事をしているね」といわれたが、住職としては「場所を提供している、情報を発信している」とい

う思い。

備えという点で、実はこの地震は予測されていた。震災後、檀家宅で切り抜きの「北海道新聞」を見せていただいた。そこに書かれていたのは、今回の地震とほぼ一緒の被害の規模や状況であった。震災前には何もないと気にもとめていなかった。

知識を何ももたない自分であるが、携わった者として伝える義務がある。組の研修会等、出向して伝えていきたい。」とお話し下さった。

【第二部】

次に「空知南組アラート委員会の組織と活動」として西川住職よりお話しいただいた。

立ち上げの経緯として、「いつまでもたつても支援する側だった」と考えていた矢先に今回の地震があつた。他人事ではなく自分たちの事だと気づかされた。委員会の目的は災害以外にもお寺が身近に起こりえる情報提供を行い、危機管理意識向上をめざすものとした。アラート委員会ではSNSグループで、まず委員会が情報収集を行う。これは北海道以外のことであつても情報収集

REDUCE (未然に防ぐ・減災)	リスクの洗い出し・分析とリスク予防の実行。 ビニール手袋必須化。体調が悪いときは無理をしない
RESPONSE (起きてしまった事への対応)	平素からの備え、症状にかかわらず病院へ行く等
RECOVER (発生からの復興)	保険や保障などの準備

を行う。

取り組み方針としては「自然災害」に対して、衛生管理不足による「人的災害」について。それぞれに「リスク管理」「危機をわかさないためにすること」「危機管理」(危機が発生してしまつたときに、その被害をどう最小限にとどめるか)の点から意識向上へと努めている。

活動については、組の特別会計を原資として以降、『活動報告書』を総代・仏教婦人会・仏教壮年会などの研修会で配付し助成を受けている。また活動経費は支援活動、支援活動参加者への助成、保養受け入れ寺院に対する補助である。またアラート委員会は「組の各部」に属するものではなく、組長直轄の部隊として組織されている。

その後、意見交換を行い、お互いの状況等を話し合った。最後に「寺院災害保険」プラ二代表が熊本地震の実績など実際の保険料支払い事例を紹介しながら説明いただき終了した。



寺院子弟交流会開催

去る、2月2日(土)、3日(日)、に教区実践運動委員会寺院活動支援部(高倉健司部長)企画による寺院子弟交流会が参加者10名にて開催されました。

今年は「札幌市青少年科学館」に地下鉄に乗って向かい、科学館では様々な科学の不思議に遊びながら触れることができ、また、プラネタリウムも鑑賞しました。夕食後「夜の集い」を行いました。万灯会から、参加者が出し物として全員で協力して紙芝居を読み、その後スタッフも出し物を行いました。参加者の出し物は、一人ひとり、声色を変えるなど工夫を凝らした紙芝居でした。

翌朝、お晨朝にお参りし、朝食、清掃後、「謎解きお寺探検」を行いました。

例年、基本作法を学ぶ時間としていましたが、既に作法ができていたので謎を解いて、別院内を走り回り、全員でミッションをクリアしていきました。謎や作法などがわからない子にはわかる子が教えるな

ど色々な体験ができたと思います。

最後に恒例の念珠づくりをして解散しました。この度の引率の方が「昔自分が参加した思い出や、今回参加した子どもも小さいときからこのような集まりに参加しており、楽しい思い出から参加させるし、参加したいと言っている。そのような思いの方々はもつというと思うので、広く周知していただきたい」との要望がありました。

寺院子弟交流会は、子弟のうちから繋がりを作り僧侶となった時に協力していけるきつかけとなる種まきの交流会です。現在の30代後半から50代の方々の話を聞くと「寺院子弟交流会で一緒になったのが始まり」という話をよく聞きます。そのような関係が今後も作っていけるように、時期の選定をはじめ、子弟のみならず、家族間交流など対象を広げるなど部会で検討していきたいと思えます。

第2回法式研修会開催

去る、2月25日(月)、26日(火)まで教化センター札幌別院にて「第2回法式研修会」が参加者19名にて開催されました。講師には土岐好道本願寺式務部部长並びに上山知現前勤式指導員(札幌組勝圓寺住職)をお招きし『無量寿経作法のお勤めと実演』く住職継職法要や各種慶讃法要のためにくをテーマとしました。

はじめに土岐部長より『無量寿経作法』を流れに沿って作法の注意点と声明について講義をいただきました。『無量寿経作法』を難しいからやらないのではなく、難しいからこそ改めて一つ一つの声明や作法の確認しながら勤めていた、いただきたい」とご指導いただきました。また「経段での行道は内陣の大きさや何匝するかにもよるが、頁をめくる時や三願ごとに動く等が分かり易い」と会係をする際の注意点等もご教授いただきました。

研修2より本堂に移動を行い実際に結衆を配置し、動きながら習礼を行いました。2日目は上山前指導員より、差定について講義をいただきました。

・会係は法要の意義を伝える役目

であるので、差定説明の前に「この法要とは」という説明も行うことにより結衆をはじめ法要全体が締まるようになる。

・前住の退任法要も行う事を勧める
・坊守式章を渡すなど坊守も継職する場面が最近が多い。

・ナレーションを入れることで何をしているかも分かり易い。

最後に参加者全員で住職継職法要をお勤めし終了した。この研修会では2日間を通して土岐部長へ多くの質問が寄せられました。

・法式と勤式の違いって何？
・声明集と勤式集の違いは？

・釣灯笼の向きは？
・餅を飾るときの紙つて必要？

・供物に向つてあるの？
答へは参加された方にお尋ね下さい。

作法に沿つて最後まで習礼を行うことは参加者全員が経験のないことでしたので、大変有意義な研修会であったとご意見をいただきました。



「北海道教区青年布教使 研修会」開催報告

去る、2月27日(水)、28日(木)に教化センター札幌別院にて、「北海道教区青年布教使研修会」が開催されました。この研修会は2017年度より講師に福岡義朝先生(宗派布教研究課程専任講師・備後教区世羅組教専住職)をお迎えし、現代社会に発信する伝道・布教のあり方を考えると共に、参加者全員が布教実演を行う研修会です。青年布教使だけでなく、布教使をめざす青年僧侶を含む12名が受講いたしました。

二日間を通して、一名15分間の実演布教を行い、参加者から講評を述べた後、講師より指導を受ける形で行われました。講評や法話の順番などは福岡先生の指名で行われるので、参加者全員が緊張感を持って研修を受けることが出来ました。

2020年度まで福岡先生にはご依頼しておりますので、青年布教使並びに布教について学ばれた方は是非ご参加下さい。

第44回少年リーダー 研修会開催

去る、3月27日(火)、28日(水)に教化センター札幌別院において北海道教区少年連盟(朝倉一恵理事長)主催「第44回少年リーダー研修会」が参加者110名(参加者64名、ジュニアスタッフ24名、スタッフ22名)にて開催されました。

毎年春休みを利用して行われるこの研修会は、参加する度に級が上がっていくシステム(初級→中級→上級→ジュニアスタッフ)となつていますが、今年はジュニアスタッフが例年の3倍以上の参加があり、繋がりを感じられる研修会でした。

開会式での各単位会紹介のあとには、ゲーム大会があり、緊張気味の参加者もリラックスできたようです。ゲームが終わると初・中・上級に分かれての学習が始まりました。浄土真宗の基本作法やお仏壇の荘厳「阿弥陀様の願い」など、浄土真宗の基本の学びを深めました。次にクラフト屋台が開かれました。今年は、毎年好評の「腕輪念珠」や「プラバン作り」「匂い袋」のほか、「お菓子袋ポーチ」「割り箸つっぽう」など作りました。プラバンには長蛇の列ができていま

した。参加者同士自分が作ったものを見せ合うなど大変な盛り上がりでした。

夜のつどいではキャンドルサーブスと朗読、ご法話がありキャンドルの光に照らされたご本尊の前で、参加者一同真剣に聞いていました。

その後の自由時間になると疲れもない様子で友達と駆け回り、1日目の日程を終了しました。

2日目は札幌別院のお晨朝に参拝し、共に正信偈をお勤めしました。朝食後、初級・中級の参加者はお焼香の作法を改めて学び、上級は10年後の自分に向けた手紙を書きました。

その後、別院各所に設けたチェックポイントを廻る「お寺探索」を行い、最後は使用した別院を掃除して閉会式となりました。

閉会式では参加者へ修了証が送られ、2日間お手伝い下さったジュニアスタッフへ記念品が渡されました。今回の研修会では多くのジュニアスタッフの参加があり、近年の活動が一つの形になってきたのではないかと思います。

初めての方もそうでない方も、来年のリーダー研修会でお待ちしております。ぜひご参加下さい。



お 知 ら せ

宗派より「第2期実践運動活動奨励賞」に
「上川南組天寧寺チェルノブイリ被曝児達を支援」
が選ばれました。おめでとうございます。

北海道教区教学・伝道顕彰者決定

3月29日(金)に「北海道教区教学・伝道顕彰奨励審議委員会」が開かれ、下記団体へ顕彰並びに奨励金が授与されます。

○殿平善彦さん【顕彰】

顕彰理由：強制連行・強制労働犠牲者を考える北海道フォーラム共同代表を長年に亘り務め、強制連行・強制労働犠牲者の遺骨返還に取り組んでおり、その活動は顕著であるため。

○空知南組善行寺合唱団【奨励金】

顕彰理由：長年にわたり、寺院や地域において音楽法要やコンサートを実施し、み教えの宣布に努めているため。

奨励理由：仏教讃歌等を通じ、阿弥陀如来のお心にふれ、団員同士の親睦を深め、寺院の護持発展の気運を高める。コンサートを通じ、今までお寺参りをあまりしたことがなかった方や、地域の皆様に合唱を通じての伝道活動を行っているため。

7月22日～23日に「巡讃許可申請資格試験講習会」を開催いたします。

- (1) 巡讃許可とは…本山および直属寺院での法要や勤行に際する始唱独吟の資格
 - (2) 本山の法要や直轄・直属寺院および一般寺院における御巡教等において、ご門主様や前門様が直修される法要の結衆となる資格
- 詳細は、後日ご案内いたしますが、毎年開かれる講習会ではありませんので、ぜひ受講下さい！！

2019年度北海道教区得度習礼講習会

今年度は下記日程にて開催いたします早めの受講をお勧めいたします。

- 期 日 第1回 2019年6月1日(土)～2日(日)※7月以降の得度受講可
第2回 2019年11月18日(月)～19日(火)※来年2月以降の得度受講可
第3回 2020年2月29日(土)～3月1日(日)※来年6月以降の得度受講可

会 場 教化センター札幌別院(札幌市中央区北3条西19丁目2-1)

受講料 15,000円(講習会費)

※仏教学院生(中央、東京、広島、行信)のみ免除となり、宗門関係学校(龍谷大学など)では免除になりません。通信教育も免除の対象になりませんのでご注意ください。

▼北海道誌

【報告】

- 1月21日 第5回重点プロジェクト実行部会
- 24日 第5回子ども・若者ご縁づくり推進委員会
- 25日 門徒総代会三役会
- 28日 第7回若手僧侶のための“御同朋”学習プログラム実行部会
- 29日 胆振組移動教務所(苫小牧市)
- 30日 教区実践委第4回社会部会
- 31日 教区実践委「連研のための研究会」
- 2月1日 教区災害対策委員会専門員会
- 2日 寺院子弟交流会(～3日)
- 5日 実演布教研修会・布教団役員会
- 12日 第2回常例協議会
- 19日 温泉説法つどい(定山溪温泉～20日)
- 21日 北見東組移動教務所
- 23日 第3回得度習礼講習会(～24日)
- 25日 第2回法式研修会
- 26日 第3回常備会・第4回教区実践委常任委員会
- 27日 青年布教使研修会(～28日)
- 3月4日 第8回若手僧侶のための“御同朋”学習プログラム実行部会
- 5日 教区災害対策委員会専門員会・仏婦連盟常任委員会
- 6日 重点プロジェクト正副部長会・矯正教化連盟評議員会
- 7日 連研推進協議会
- 8日 総代会常任幹事会・ピハラー理事會
- 9日 仏青役員会
- 11日 教区実践委第3回寺院活動支援部会
- 12日 定期教区会
- 13日 教区実践委第5回社会部会・教区実践委第2回僧侶研修部会
- 14日 教区実践委「門信徒教化部研修会」
- 16日 仏社連盟役員会
- 18日 真宗教団連合拡大委員会
- 26日 寺婦役員会
- 27日 少年連盟リーダー研修会(～28日)
- 28日 教区実践委常任委員会・全体会
- 29日 教区組長会
- 2019年度
- 4月12日 第1回重点プロジェクト実行部会
- 18日 保育連盟拡大委員会
- 20日 スカウトクラブ役員会
- 22日 第1回若手僧侶のための“御同朋”学習プログラム実行部会
- 23日 本派矯正教化連盟・更生保護事業協会
総会・合同研修会

- 24日 布教団役員会・教区実践委第1回社会部会・青年僧侶協議会常任委員会
- 25日 「貧困の克服に向けて」全役職者研修会
- 27日 仏教壮年会連盟総会
- 28日 仏教青年会連盟総会

【予定】

- 5月9日 教団連合拡大委員会
- 10日 教区保育連盟総会
- 14日 総代会常任幹事会
- 16日 仏婦・寺婦総会合同研修会
- 17日 実践運動正副部長会
- 28日 教区布教団役員会・総会
- 28日 第一連区(北海道教区)布教使研修会(～29日)
- 29日 少年連盟総会
- 6月1日 第1回得度習礼講習会(～2日)
- 8日 「重点プロジェクト」夏季保養相談会(福島県いわき市ほか)～9日
- 11日 第一連区教務所長・教区会議長協議会(築地本願寺～12日)
- 17日 第Ⅱ期第1回若手僧侶のための“御同朋”学習プログラム研修会(～18日)
- 20日 教区総代会全道総代研修会
- 7月6日 寺院子弟交流会(東川町～7日)
- 21日 「重点プロジェクト」夏季保養事業(～27日)
- 22日 巡講資格講習会(～23日)
- 8月以降
- 8月30～9月1日 「第16回世界仏教婦人会大会」(サンフランシスコ市)
- 9月28日 まことの保育大学講座
- 11月上旬 教区実践委「第2回御堂演奏会」
- 11月18日 第2回得度習礼講習会
- 11月23日 「第11回北海道教区真宗青年の集い」(函館別院～24日)
- 11月26日 第Ⅱ期第2回若手僧侶のための“御同朋”学習プログラム(～27日)
- 12月6日 札幌龍谷学園高等学校「いのちの授業」
- 2月26日 「青年布教使研修会」(～27日)
- 2月29日 第3回得度習礼講習会(～3月1日)
- ※2019年度教務所長会 9/18、12/18、3/26

門徒総代会「全道大会」開催

【前門様ご臨席】

期日 2019年6月20日(木)
 会場 教化センター札幌別院本堂
 札幌パークホテル
 講師 天岸浄圓さん
 (大阪教区東住吉組西光寺住職)

北海道教区常例布教日程(予定)

札幌別院	別院	北見西	北見東	釧根	十勝II	十勝I	日高	胆振	上川北	上川南3	上川南2	上川南1	空知北	空知南	後志	函館	札幌II	札幌I
(岐阜教区・飛騨組・真光寺) 森下広大	(北海道教区・空知北組・法忍寺) 渡辺雅俊	(山陰教区・千須賀組・永照寺) 吉川昭恵	(熊本教区・玉岡組・正元寺) 寺添和南	(8 北海道教区・上勝組・真浄寺) 永田弘彰	(9 25 北海道教区・空知北組・圓覺寺) 豊田大充	(7 北海道教区・根室組・正光寺) 鈴木将弘	(安芸教区・山県太田組・安養寺) 小林邦頭			(12日のみ 北海道教区・留萌組・西曉寺) 藤 順生	(北海道教区・札幌組・覚英寺) 黒田頭成			(11 23 北海道教区・留萌組・西曉寺) 藤 法順	(9 北海道教区・空知南組・報恩寺) 渡邊龍誠	(北海道教区・函館組・宣法寺) 渡邊龍誠	(安芸教区・石田博文) 石田博文	(北海道教区・空知南組・報恩寺) 辰田真弥
(熊本教区・玉岡組・正元寺) 寺添和南	(山陰教区・鹿足組・妙壽寺) 村上元	(四州教区・徳島西組・安楽寺) 千葉恒乗	(北豊教区・京仲組・正山寺) 生土昌行	(鹿兒島教区・東隅組・願成寺) 藤 清道	(安芸教区・広陵東組・西應寺) 平 慈敬				(北海道教区・釧路組・常龍寺) 水野正幸				(山口教区・岩国組・教法寺) 筑波敬道	(北海道教区・東隅組・宣法寺) 渡邊龍誠	(北海道教区・札幌組・覚英寺) 黒田頭成	(熊本教区・益東組・教尊寺) 大道修	(北海道教区・空知北組・報恩寺) 辰田真弥	(大阪教区・豊島南組・託明寺) 平野正信
(山陰教区・千須賀組・永照寺) 吉川 恭	(熊本教区・天草上組・觀乘寺) 山下恭司	(滋賀教区・長浜組・浄願寺) 夏木一丸	(安芸教区・山県太田組・安養寺) 小林邦頭	(北海道教区・釧路組・西光寺) 八村幸代	(北海道教区・錦路組・常龍寺) 水野正幸				(北豊教区・京仲組・正山寺) 生土昌行				(6, 7, 11 18 北海道教区・留萌組・西曉寺) 藤 順生	(北海道教区・空知北組・圓覺寺) 金龍之哉	(四州教区・徳島西組・安楽寺) 千葉恒乗	(北海道教区・空知北組・報恩寺) 渡邊龍誠	(安芸教区・佐伯東組・光乘寺) 中村啓誠	(北海道教区・空知北組・妙法寺) 石田智秀
(東京教区・麻布組・光善寺) 柳川真理子	(安芸教区・沼田組・法隆寺) 森岡惠隆	(兵庫教区・神姫組・光明寺) 長谷都子	(大阪教区・石川南組・専光寺) 多田大樹	(北海道教区・根室組・正光寺) 鈴木将弘	(滋賀教区・神崎組・称名寺) 田中諱康								(21 23 京都教区・下西組・正住寺) 苗村隆之	(9 17 北豊教区・上毛組・円光寺) 島津教信	(大阪教区・島中南組・明教寺) 渡田響子	(熊本教区・佐伯東組・光乘寺) 辰田真弥	(熊本教区・託麻組・良覺寺) 吉村隆真	(未定)

※変更になる場合がございますので、ご了承下さいませ。